

9. 二本松市布沢集落ホタル観察会に参加してみた

会員 羽根田 宗将

二本松市布沢集落の田んぼビオトープ

ビオトープとは生物の生息場所のことを意味します。布沢集落では自然環境保護及び子供たちの体験教育の場としての活用を目的に、田んぼビオトープが作られ、現在では豊かな自然の中、多くのホタルが生息しています。

昨年6月に開催された「布沢集落ホタル観察会」に参加しましたので、拙い文章ではありますが、その感想を綴っていきたいと思います。



事前調査

まず開催にあたって、1週間前に宗像さんと主催者である「布沢の環境を守る会」の代表である菅野正寿さんに挨拶に伺いました。布沢地区に着くと、集落の方々が当日子供たちが安全に楽しく観察できるようにと、ビオトープ周辺の草刈りや会場の整備を行っていました。

布沢集落では休耕田のビオトープ化に加え、有機農業の実践や、あえて自然に近い環境を残す工夫をすることで、生物たちが住みやすい環境を守り続けているとの説明を受け、地域が一丸となって先祖から受け継いだ土地の自然環境を守り、その意思を子供たちに伝えていこうという姿勢が伝ってきて、とても感銘を受けました。

また、恐らく十数年振りに虫網を持ち、事前調査として“虫捕り”（生き物調べ）をしました。普段であれば、「ただの田んぼ」「風景の一部」でしかなかった里山の光景に、網とカゴを身につけ、改めて目を向けてみることで、沢山の動植物がイキイキと生活していることに気付くことが出来ました。

布沢集落の田んぼビオトープ周辺の空にはアキアカネやシオカラトンボといったトンボの仲間をはじめ、モンシロチョウやベニシジミといった蝶の仲間、水中には甲虫の仲間であり絶滅危惧Ⅱ種のゲンゴロウ、葉っぱの上には両生類のニホンアマガエル等、沢山の生き物が各々自由に生活しており、網を持つと時間を忘れ、目の前にいる生き物たちを懸命に追っていました。（多分、この時の私は目が輝いていたと思います。。）

ホタル観賞会当日

当日は、東和小学校4年生の生徒・保護者をはじめとして、遠くは東京より、この活動に賛同する沢山の方々と一緒にビオトープ周辺の散策をしました。日が沈み、辺りが暗くなるとポツポツとヘイケボタルの明かりが浮かび上がり、と同時に子供たちの歓声が上がりました。久しぶりに見るホタルはとても綺麗で、思わず見入ってしまう程でした。(本当に綺麗でした!!!)

最後に

正直、私は自分が地球環境のためにできることが何なのかすらイマイチ分かっていません。分かっている中々行動に移すことが出来ていないという自覚があります。「これは当協会員としてどうなのだろうか」とも思いますが。。)

しかしながら、今回の活動を通し、まずは身の回りの自然に「目を向ける」ことが、「考える」、「行動する」ことに繋がっていくのではないかと感じ、今後も積極的に色々な活動に目を向け、参加していき、当協会員の皆さんのお手伝いが出来ればと考えております。

最後になりますが、このような貴重な機会を与えて下さった、当協会の相楽会長、協力会員の宗像さん、関わって下さった皆様に感謝申し上げます。

有難うございました。



事前調査で捕獲した生き物たち
(ゲンゴロウの幼虫)



子供たちへホタルの生態について説明している様子

10. 2018&2019NEW 環境展&地球温暖化防止展報告 他 会員 相楽昌男

(1) 2018NEW 環境展&地球温暖化防止展

会場：東京ビックサイト：2018年5月22日～25日4日間
環境展510社/地球温暖化防止展112社:累計来場者158,222名

1. AI・IoT等デジタル&リサイクル技術の融合、産業資源循環。
2. 展示場内に中間処理場。産業廃棄物を破碎・選別大型プラント。

3. 猛暑対策コーナーが人気、空調付作業服、遮熱シートを体感。

アジア最大級の環境展示会で、かなりの人出。外国の出店も多数あり、外国の来場者も多数。環境展はかなりの部分廃棄物処理やリサイクルの機械が至る所にあり迫力に圧倒されました。廃棄物処理と水処理、再生可能エネルギーなど多岐にわたっていました。

まず、温暖化ブースから。まず目に入ったのが【遮熱材】。遮熱材ブースではライトの前のガラスに手をかざして比較、確かに全然違う。ガラスコート剤、掃除ではがれるのではと聞くと「H6硬度で大丈夫です」確かにこすると固い。遮熱シートもあるとのことで、効果が意外とよかったので特別価格（写真と別）のものを買ってきました。後日実験で効果を確認！遮熱の仕組みはやはり「アルミ金属のナノ物質」らしい。遮熱材は多数のブースで展示がありました。

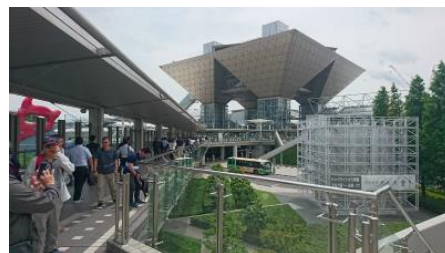
次が【屋上緑化】厚さが10mm程度のマットに特殊な「砂苔」を貼り付けて、屋根面の遮熱に効果。通常気象では自然の雨水でメンテ要らずとの事。屋根面の温度を≒10℃下げるとの事。

次に【真空管式太陽熱利用システム】30年前あるメーカーでのプレゼンを見ましたが、別のメーカーで耐候性と効率が進化し、ほぼメンテ要らず・動力要らず効果的に温水をつくることのできるとの事。非常に実用性が高い。思ったより低価格の部類に入る。

【地中熱利用】も多くの企業が取り組んでいました。コストと敷地の課題があるようですが。

最後に【破碎機や分別機】が大きなスペースで多く出展されていました。PRに最適だからでしょうか。ゴジラ並みのビルの破碎機材には圧倒されました。値段を聞いたら「1000万円～」鉄でもコンクリートでも簡単に切断できるとのこと。

【有害廃棄物処理】技術の進歩に「浦島太郎」にならないようにこのような展示会はたまには実物を見て話しを聞いてみる必要アリと思いました。



会場：ビックサイト



遮熱シート



苔シートで屋上緑化



建設解体破碎機

(2) 2019 NEW 環境展&地球温暖化防止展 2019年3月15日(金) 東京ビッグサイト
環境ビジネスの新時代を創る展示会として、各種課題に対応する様々な環境技術・サービスを一堂に展示情報発信し環境保全への啓発を行い、国民生活の安定と環境関連産業の発展を目的。出展者数約500社。累計来場者115,976名数。海外の参加者も多数。



昨年5月と違うところが多々、特に廃棄物処理関連が進化。地球温暖化防止展に「未利用エネ・持続性商品・来年のオパラ猛暑対策・SDGs」のキーワード、環境展に「AI・国際規制・廃棄物利活用・G20日本は3R」のキーワード。ネットワークシステムやソフト(連携)も最近の傾向。<以下に気になったブースを概略報告～一部抜粋>

地球温暖化防止展

ソーラークッカー➡

◆**ソーラークッカー**：【T社】屋根設置型真空管式太陽熱利用システムのコアパーツを汎用型集熱キットに使用。太陽熱調理器(ソーラークッカー)で、一般的なものと効率が格段に違い、太陽光で300℃近い温度が得られ真空二重ガラス管の中に水など入れて調理。このブースでは中小企業の連携グループによる活動。※クッカーは後日、入手し効果を実証済。



◆**家庭ごみ処理の有料化**：【N社】様々なゴミ袋を展示。家庭ごみの有料化が市町村で増え、指定ゴミ袋の価格(武蔵野市の例：5L10枚一組100円)に処分の一部を負担し、資源ごみ分別による減量化になっている。



有料指定ゴミ袋

環境展

【**廃棄物処理**】中国政府が廃プラスチック等の廃棄物の輸入を禁止しました。この規制は日本のリサイクル、資源、その他関連業界に非常に大きな影響を及ぼしつつあります。今までは廃棄処分だけだったのが、発生企業と処理企業の連携で、**定常的な有料再資源化**が目立ちました。



ごみを資源に!

毎年冬季に逢瀬川のゴミ退活活動を実施していて、川の中のプラスチックごみが多く海洋のマイクロプラスチック共余計に気になりました。

◆**ゴミ・プラ同時処理システム**：【K社】中身が入った袋ごとプラスチックと排水を洗浄脱水分離し、フィルムと排水が別に出てくる仕組み。

◆**太陽光発電廃材**：【T社/鳥取県】2020年以降急増する使用済み太陽光パネルのリサイクル義務化に対応。太陽光発電のガラス廃材が重量の60%以上占めている。有害アンチモンなどの有害物質の無害化リサイクル技術を開発(国際特許申請中)。高付加価値ガラス発泡剤へ再製品化可能に

◆**廃棄バッテリーの再生**：【B社】のバッテリー再生技術。寿命は新品の半分以上で価格は3分の1でコストメリット大。

◆**建築物剥離廃液処理**：【G社】法改正で建築物剥離廃液が産廃に認定となり、リサイクル処理特許をアピールして需要拡大に対応。

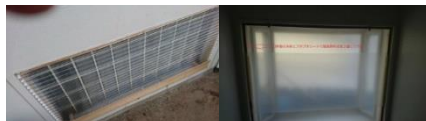
◆**総合環境サービスプロバイダー**：【VEOLIA/仏国】水事業・エネルギー事業・廃棄物処理事業。160年にわたり世界各国で技術・運営・経済面で自治体・企業を支援。日本では従業員数5千名以上での委託事業に実績あり注目されている。将来へ向けて気になった。

(3) 夏季の向かいのビルから熱の放射を考える

8月1日 東京で一日省エネの研修。東京駅、サーモで暑い東京を撮ってきました。ビルから熱の放射が・・・実は下の階ほど廻りからの熱反射がガラスにあたって、こちらに向かっているのですね。どこにいても熱放射の嵐でした。

反対側ビルの反射熱**(4) 我が家の冬の省エネ対策（内窓・外窓を冬季に夏季は取外し）**

11月～5月30年前の浴室の出窓と地下室のガラスブロックは寒いので手製の2重内窓で暖かくしました。去年は内側だけでも暖かったがもっと暖かく。

**(5) 『赤トンボの舞う田んぼビオトープの生き物調べとビオトープ整備』**

9月17日布沢集落の環境を守る会：二本松市東和町太田区布沢集落 宗像亮さんと一緒に参加して。地域の人たちの思いの緩やかさ深さに感服。地域で生きている生きものたちと食文化にしばし思いをはせる。

※7月のホテル観察は羽根田さん報告参照

**(6) 東和小学4年生による田んぼビオトープの生き物調べ**

9月26日 宗像 亮さんと一緒に二本松市東和町太田区布沢集落で、私はビオ・トープ（自然環境のつながりから）の話を、宗像さんはイラストによる赤トンボの見分け方をお話して、生徒40人と先生方で生き物探し。

**(7) 逢瀬川ふれあい通り in Autumn**

10月28日 逢瀬川でカヌー体験と竹細工を担当。今日はあちこちでイベントが重なり、こちらは少数でのんびり川辺の紅葉を愛でながら歌や踊りを楽しみました。竹細工は休業状態で、準備やサンプルづくりで耐力保持に努めました。今後次の世代にどんなかたちで引き継ぐか思案どころです。

**(8) 逢瀬川ゴミ退治ワークショップ**

2月24日長尾さんが福島的大学生をゴミ退治にお誘い。

1. 始めにゴミの写真を紹介し、撞井氏始まった経緯を話す。
2. 川に入る注意事項の説明。
3. ゴミに対する考え方（拾う場合と広く伝える効果の違い）。
マイクロプラスチック、生物濃縮、自浄能力など説明。
4. ゴミの拾い方。優しくほどく、泥をゆすぐ、乾かす。跳ね返りに注意。先を読む、頭を使う。

5. 振り返りを聞くのを忘れた！※楽しかったとの言葉で十分かな。

6. ごみの分別、分析。★川の中に入って十分体感したようで、「また入りたい」とのこと。夏季はカヌーもあるよと。お互いに学び、考えを深めることができました。感謝！



1 1 . 夏～秋の猪苗代湖鬼沼周辺里山歩きと葉っぱワークショップ

特別寄稿 宗像 亮

開催日：平成30年8月26日（日） 9：00～15：00

活動場所：郡山市湖南町舟津字鬼沼の里山及び湖南町公民館

今回で10回目の里山歩きとなり、晴天の中、郡山女子大学生さんを中心に17名（カウンセラー協会会員4名）の参加。里山生き物（オルリボシヤンマ、キトンボ、アキカネハライモリ、ツチガエルなど）を観察しながら、ワークショップで使用する植物（マタタビ、オトギリソウ、クズ、ヤマイモ、ヤマトリカブト、ツリフネソウ、カタバミなど）を皆さんと採取。講師の南相馬市博物館の仲川さんによる里山植物の解説がありました。その後、猪苗代湖畔の青松浜にておにぎり昼食と交流を行い湖南公民館へ移動。



集合写真：里山歩きの後

移動後、国立環境研究所の山岸先生から水環境についての特別講演と質疑応答。その後は、採取した里山の植物をスキャンしながら印刷した用紙を葉っぱに沿ってはさみで切り取りながら、A2パネルにみなさんと協力して貼り付けワークショップを2つのグループにてまとめをおこないました。今回の葉っぱワークショップでは個人ごとに植物を標本にするだけでなく、家庭用のプリンターを活用してスキャンデータ化したものを集約作品として表現することが可能となりました。



ワークショップ後の集合：里山の植物のパネルまとめ

◆まとめ◆

湖南町舟津鬼沼の豊かな自然と人の暮らしの見られる里山において植物採取と生き物観察を行いながらまた、里山ワークショップ（葉っぱ）を行うことで多様性が見られる里山環境をみなさんと考え・交流する機会となりましたことを感謝申し上げます。



12. 2018年度の事業活動の概要

事務局長 新山 敦司

<事業活動>

1. 虹をつなぐ 友・有・悠～6回目 5月20日（日）道の駅南相馬 参加者：1名
2. 環境学習会 5月13日（日）郡山市中央公民館 参加者：16名
演題 「福島県地球温暖化対策推進計画」と進捗状況及び今後の課題
講師 地球温暖化担当 主任主査 佐藤大輔 様
3. ふくしま環境フォーラム（震災廃棄物のパネル、自然観察のパネルを展示）
8月4日（土）コミュタン福島 参加者：4名（長澤利枝、宗像亮、菊地宗光、新山敦司）
4. 会津若松市環境フェスティバル
10月14日（日）鶴ヶ城体育館 参加者：3名（相楽昌男、新山敦司、大越則恵）
5. 福島議定書省エネアドバイザー派遣委託事業 診断実施期間・件数：5月～10月、20件
省エネアドバイザー：11名（片平大造、渡邊邦雄、白石田良一、青木敏春、菊地宗光
相楽昌男、緑川洋一、大越則恵、中西恒雄、小野信彦、新山敦司）
6. 省エネプラットフォーム事業への参加
構成団体として、福島環境カウンセラー協会として参加。調整会議に、新山理事が参加。
平成30年度は、12事業所、訪問34回、72人回の診断を行った。
7. 福島議定書事業、事業所版の審査会へ参加 審査員：新山理事参加。表彰式：相楽会長参加

<他団体への協賛活動>

1. 「猪苗代湖 鬼沼周辺の春の里山歩き」への協賛
5月4日（水）猪苗代湖（郡山市湖南町）で開催された自然観察会に協賛。

<その他の活動>

1. 西日本豪雨災害へのお見舞い活動
岡山の環境カウンセラー協会の方から、豪雨災害についてメッセージが届き、会員へタオルの送付を呼びかけた。商品提供者5名。
2. 会報の発行 5月21日に発行。
会員へ配布、福島県、その他行政機関などへ配布。環境フェスタ in 会津参加団体に配布。
3. メーリングリストによる情報発信 内容は、会員への連絡、イベント案内、環境情報等。
4. ホームページでの情報発信 (<http://fec.jyoukamachi.com/>)
会報の公開、平成30年度事業計画の公開。省エネセミナーの参加募集。

NPO法人 福島環境カウンセラー協会報（F E C 協会報）

第10号 発行日 令和元年5月26日

発行 NPO法人 福島環境カウンセラー協会

発行責任者 相楽昌男 / 事務局長 新山敦司 / 編集担当 相楽昌男、新山敦司

お問い合わせ先：963-8862 福島県郡山市菜根5-17-14

Mail：bbwaiku@kih.biglobe.ne.jp 会長 相楽昌男